

九重山の火山活動解説資料（平成 25 年 4 月）

福岡管区気象台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 4 月の活動概況

・噴煙など表面現象の状況（図 1、図 2-①③）

噴煙活動は低調で、白色の噴煙が高さ 50m 以下で経過しました。

・地震や微動の発生状況（図 2-②④、図 3）

火山性地震の月回数は 6 回（3 月：7 回）と少ない状態で経過しました。震源は星生山の北東約 2 km の海拔下 1 km 付近でした。

火山性微動は 2006 年 10 月以降、観測されていません。

・地殻変動の状況（図 4、図 5）

GPS 連続観測では、火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。



図 1 九重山 噴煙の状況（4 月 27 日、上野遠望カメラによる）
白色の噴煙が高さ 50m 以下で経過しました。

この火山活動解説資料は福岡管区気象台ホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/fukuoka/>）や気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 25 年 5 月分）は平成 25 年 6 月 10 日に発表する予定です。

※この資料は気象庁のほか、国土地理院、大分県及び独立行政法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50m メッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 23 情使、第 467 号）。

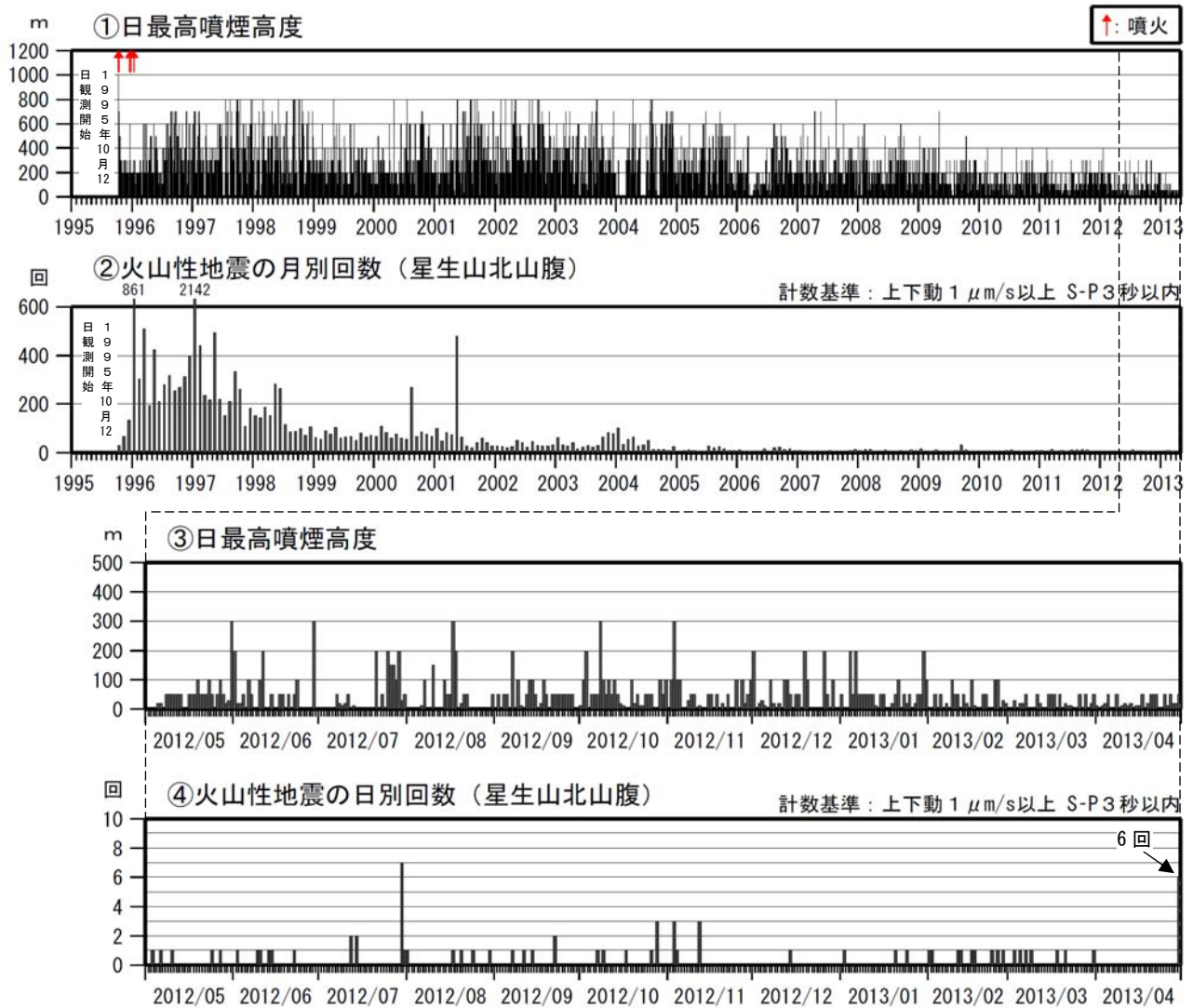


図2 九重山 火山活動経過図（1995年10月～2013年4月）

< 4月の状況 >

- ・噴煙の高さは50m以下で経過しました。
- ・火山性地震の月回数は6回（3月：7回）と少ない状態で経過しました。

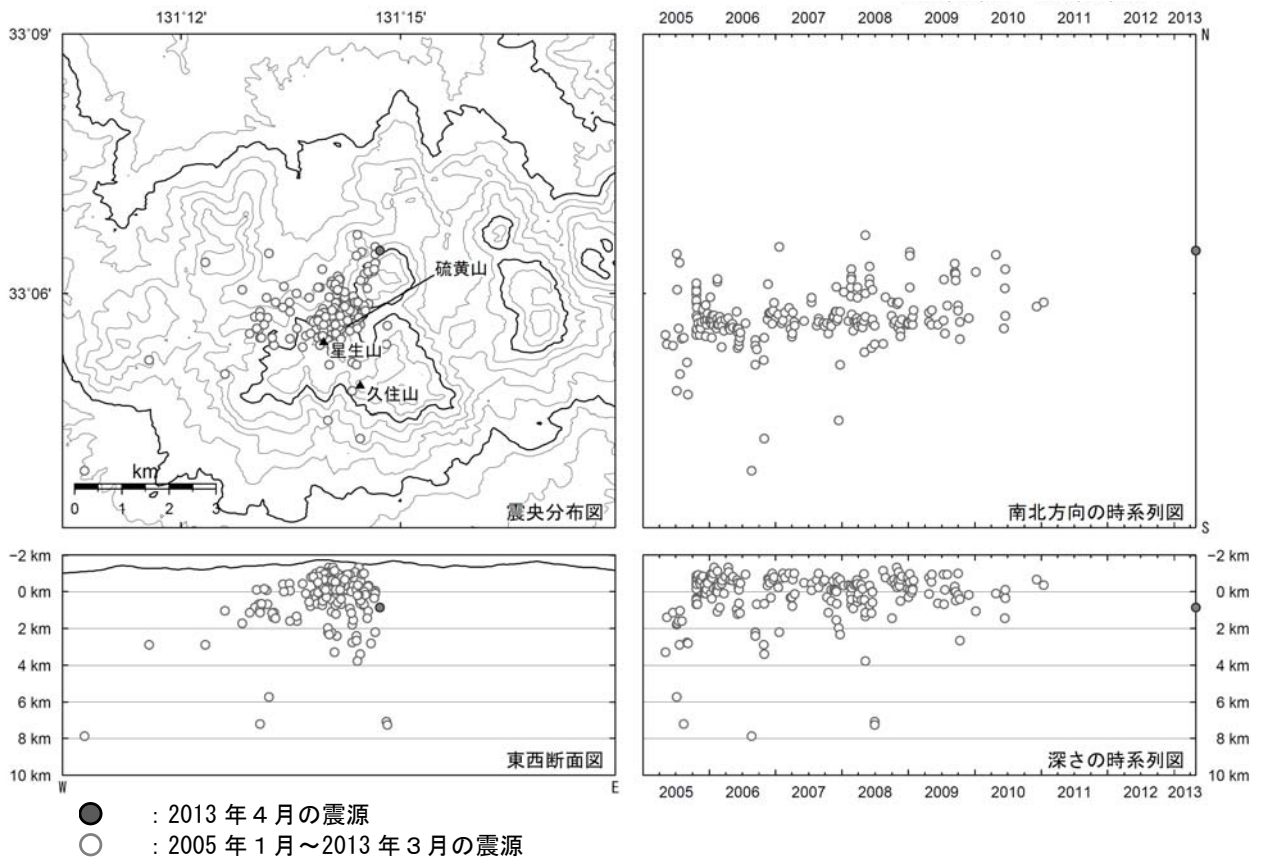


図 3※ 九重山 震源分布図（2005 年 1 月～2013 年 4 月）

< 4 月の状況 >

震源は、星生山の北東約 2 km の海拔下 1 km 付近でした。

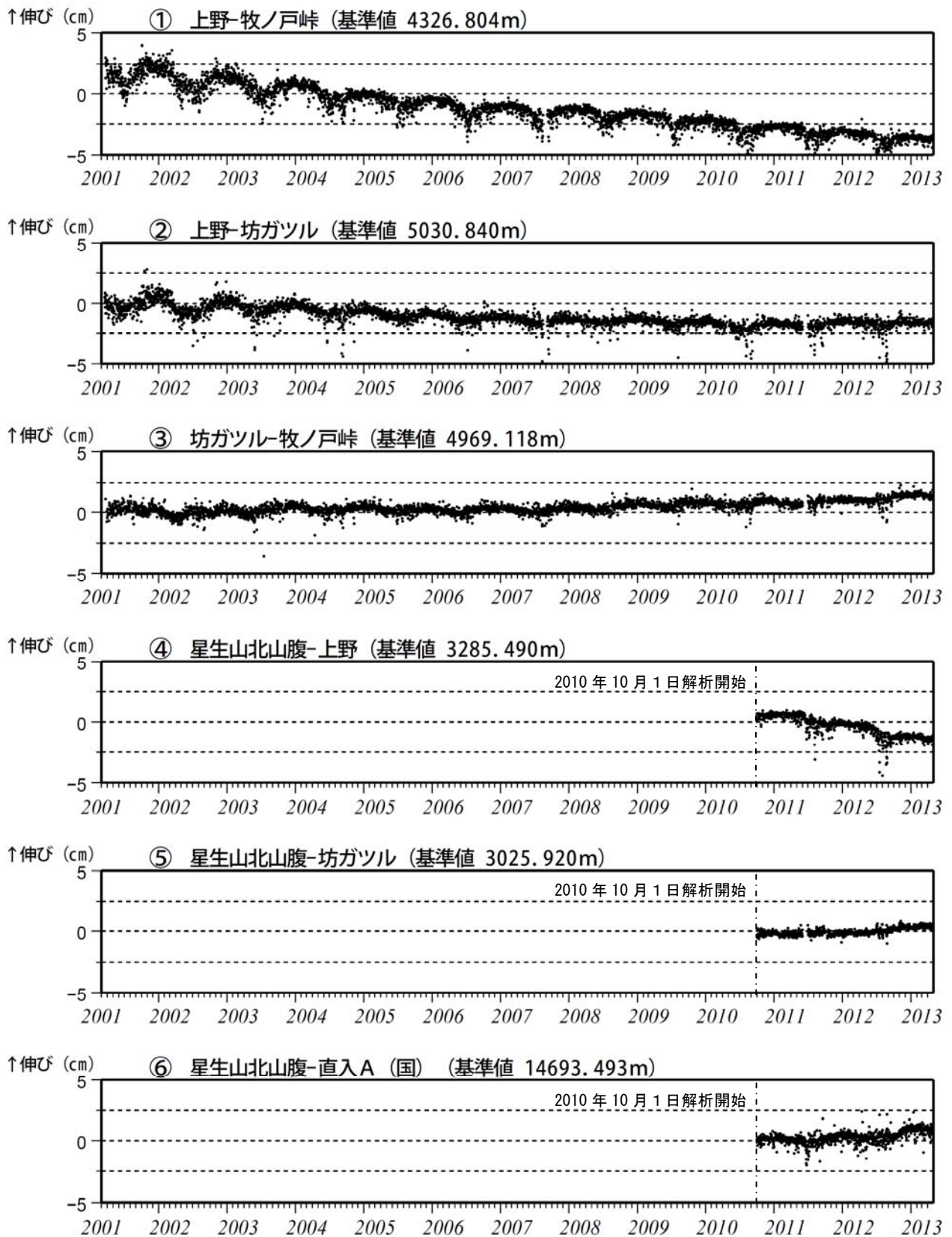


図 4※ 九重山 GPS 連続観測による基線長変化（2001 年 3 月～2013 年 4 月）
火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

これらの基線は図 5 の①～⑥に対応しています。
2010 年 10 月以降のデータについては、電離層の影響を補正する等、解析方法を改良しています。

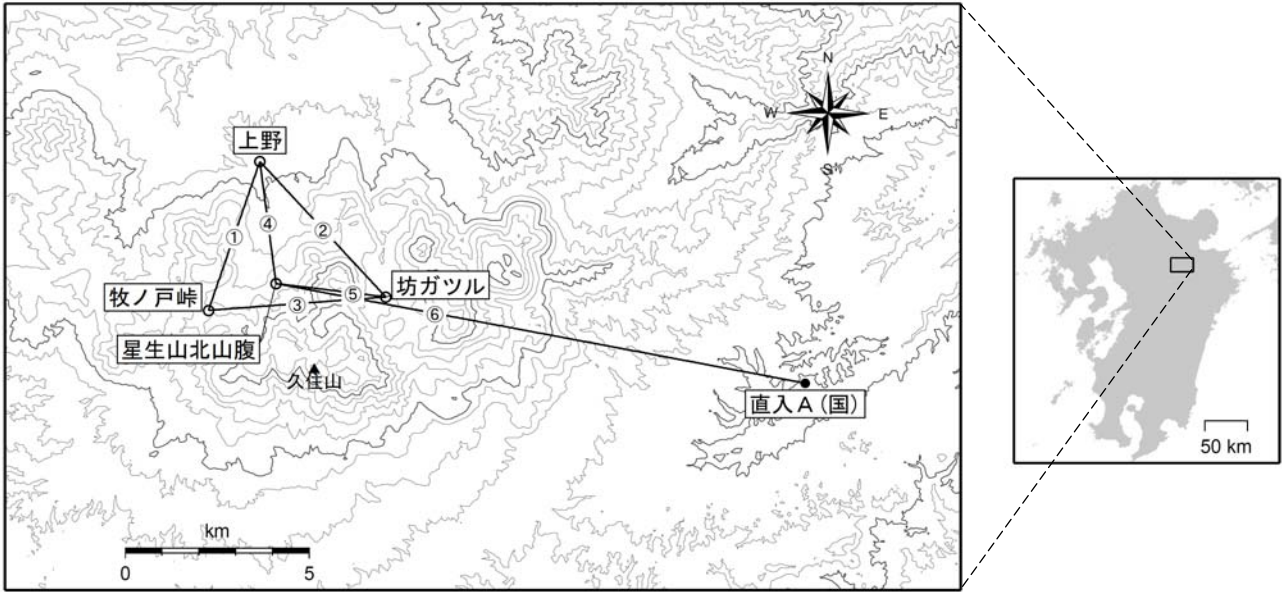


図5 九重山 GPS 連続観測点と基線番号

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
 (国)：国土地理院

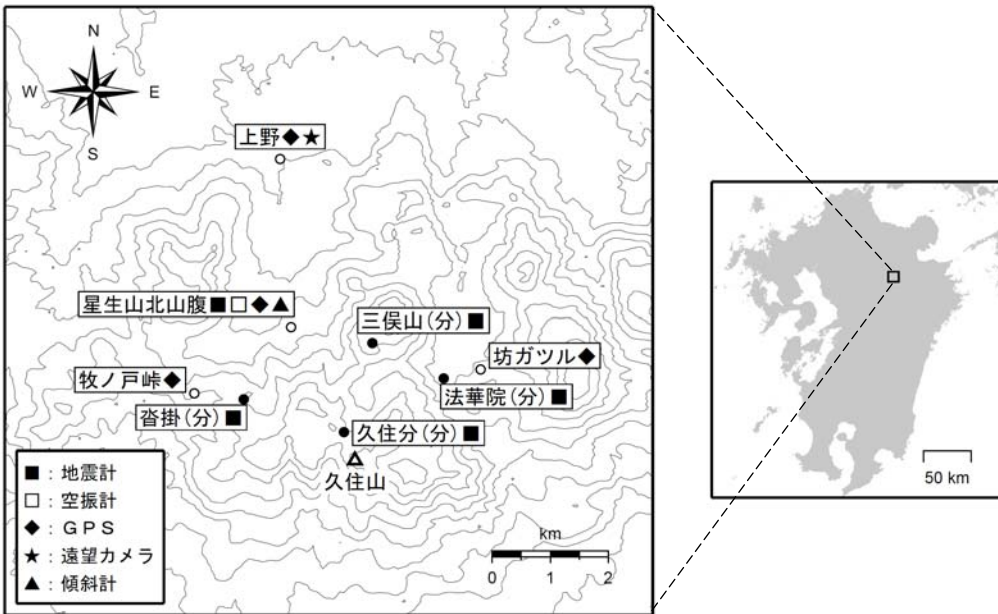


図6 九重山 観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
 (分)：大分県